



いるか塾資料
No.2018-11
発行 2018-07-10
小林利治

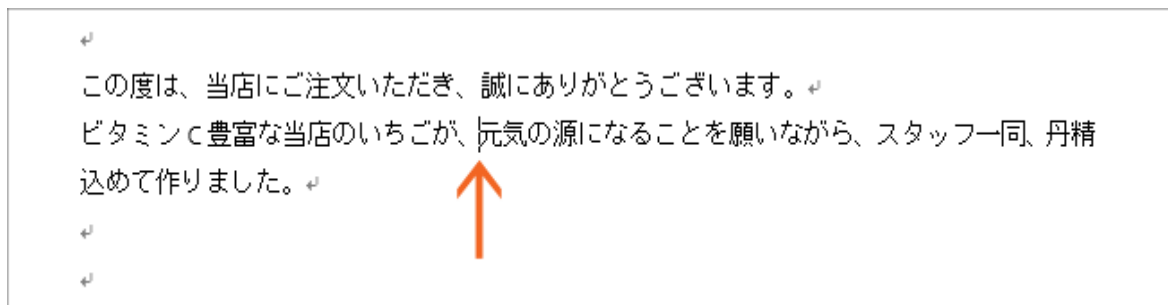


入力すると元の文字が消える

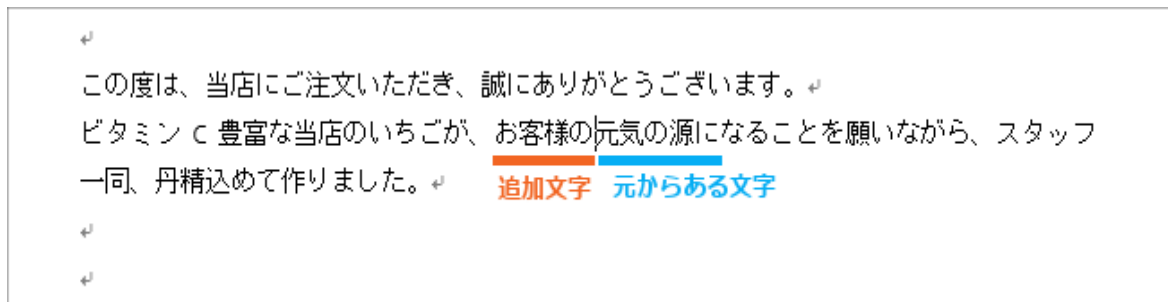
解説記事内の画像は Word 2016 のものですが、操作方法は下記のバージョンで同じです。 Word 2016, 2013, 2010



。下図と同じ文面を ワードに入力してください



赤の↑の処に {お客様の} と入力します



元からある文字はそのままだ、入力した文字が追加されます（これが普通です）



ところが！あるとき突然、追加で入力した文字の代わりに、元の文字が消えてしまうという事態が！

一瞬壊れてしまったのではと心配になりますが、大丈夫、これは Word の機能。

この度は、当店にご注文いただき、誠にありがとうございます。↓
ビタミン豊富な当店のいちごが、お客様の|になることを願いながら、スタッフ一同、丹精込めて作りました。↓

追加文字 元からある文字

{元気の素} の文字が消えた・・・自分でも気付かぬうちに、あることをしてしまったので、その機能が有効になっただけです。



機能って？ そりゃな！

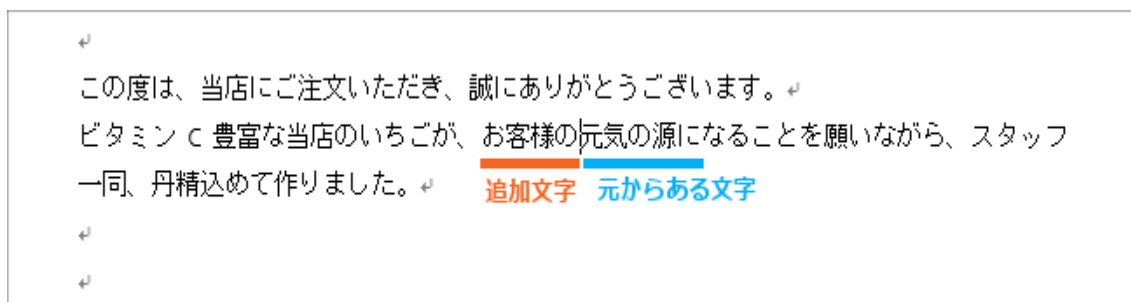


パソコンを使っていると、様々な出来事に遭遇しますが、一つ一つ経験を積んでいけばそれでいいのです。お任せください・・・では説明します。



実はこの、元の文字が消えてしまうというのは、おかしい事態ではなく、上書きモードという Word の機能。

このモードにしてから文字を入力すると元の文字が消える 03 入力した文字が、元の文字の上にかぶさっていくので、元の文字は消えていきます。



それに対し、既定のモードは挿入モードといい、これはご存知のとおり、文字カーソルの位置に、入力した文字が割り込むように追加されるので、入力すると元の文字が消える 元からある文字が消えることはありません。



「いやいや、だからって、上書きモードにした覚えはないよ」ということになると思うのですが～～??

原因はキーボードの [Insert] キー。

キーボードによっては [Ins] となっているものもあります。

キーボードのどこにあるかは、まちまちなのですが、キーボードの右側にあることが多いです。



そしてこの [Insert] キー、押すたびに上書きモードと挿入モードを切り替えることができます。他のキーを押したつもりが実はこのキーを押し

てしまっていて、意図せずモードが切り替わっていた、というわけです。ですので、[Insert] キーを一度ポンッと押してあげれば、元の挿入モードに戻ります。

現在のモードを画面で確認するには

それにしても、今がどちらのモードなのか、入力するまで分からない、というのだと、不便を感じる方もいらっしゃるかもしれません。

もしそう感じたら、現在のモードを画面で確認できるように設定しておきましょう！

Word 画面の一番下に細い領域があるはず。その細い領域の右側には、画面の表示倍率が出ていたり、

入力すると元の文字が消える左側にはページ数が出ていたりします



この、画面の一番下にある、細い領域全体のことをステータスバーと言うのですが、このステータスバーのところだっただこでもいいので右クリック、すると、このステータスバーにどんな情報を表示させるかをカスタマイズするためのメニューが表示されます。



このメニューにある「上書きモード」の左側に、チェックがついていない場合には、モード情報がステータスバーに表示されていないということなので、クリックします。クリック後は、キーボードの「Esc」キーを押すと、メニューを消すことができます。



すると、モード情報がステータスバーに表示されました！



もし、メニューを表示させたとき「上書きモード」の左側に、チェックがついている場合には、すでにモード情報はステータスバーに表示されているので、キーボードの「Esc」キーでメニューを消します。



というわけで、ステータスバーにモードを表示させておけば、挿入モードの場合には、このように表示されます



上書きモードの場合にはこのように表示されるので、[Insert] キーを押してモードを切り替えると、ステータスバーの表示も切り替わることを確認してみてください。



また、ステータスバーにモードを表示させると、[Insert] キーで切り替える他に、このモード表示の部分をクリックしても、モードを切り替えることができます。

KEEP OUT 立入禁止 KEEP OUT 立入禁止 KEEP OUT 立入禁止 KEEP OUT 立入禁止
パソコンを使っていると様々な出来事に遭遇しますが、一つ一つ経験を積んでいけばそれでいいので、今回のモードについても経験の一つにしてください♪

